

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 9月 1日

事業所名 みらいデイサービス あすなるクラブ神埼

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	8	1	パーティションやスケジュールを用いて、各々が集中して活動に取り組みやすいようにしている。	適時、安心して過ごせるスペースを提示していく。スケジュールにて各々の活動をずらしながら個別活動や集団活動に集中して取り組めるように配慮する。
	2	職員の配置数は適切である	8	3		安全に運営できる人員配置を行っている。	今後も利用者数や活動内容に合った職員数でサポートを行っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		7	衝撃防止用マットや踏み台等。	必要に応じて設備を整えていく。安心して安全に過ごせるように環境設定を行う。保護者様の要望も確認しながら、サービス提供に繋げる。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	7		職員と共有しながら実施している。	全職員が参画しながら取り組める機会を整えていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11			定期的実施している。会議等を踏まえて、業務改善に繋げている。	信頼関係を構築出来るように、保護者様と連絡を密に共有を行っていく。振り返り、改善に繋げていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11			ホームページにて閲覧できるようにしている。	引き続き、ホームページや通信にて発信していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	8	該当なし。	必要に応じて検討事項としたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	2	8	毎年研修参加が出来ているが、コロナ禍で研修参加が出来ていない。	パソコンでの研修など、参加出来る体制をつくっていききたい。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	1		ニーズを踏まえて計画書を作成している。	児童や保護者様と課題を共有しながら今後も作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	8	1	標準化された物だけではない。	アセスメントを定期的実施し、標準化された物も使用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1		適時、各職員にて話し合いながら実施している。	全職員にて立案出来るように、話し合いの機会を設けていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	1		児童の特性を踏まえて、活動内容を検討している。	児童の特性を踏まえて、活動の実施、振り返り、改善に繋げていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11			利用時間に応じて活動内容を検討している。	利用時間や各々の特性に配慮して課題を設定していく。事前に予告するなど、安心して取り組めるようにする。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	1		児童の特性を踏まえて、個別集団活動を実施。計画書を作成している。	児童の特性を踏まえて、個別集団活動を実施。計画書を作成していく。無理なく活動への参加、集団活動に取り組んでもらう。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11			朝礼時に職員間で共有している。	今後も朝礼時に職員間で情報共有していく。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	1		終礼時に職員間で共有している。	終礼時に職員間で情報の共有と振り返りを行い、改善に繋げていけるようにする。児童の状況など、普段と違う様子や気づきがあれば保護者様へ連絡する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11			ケース記録や日誌に記録し、改善や向上に努めている。	記録は共有し、振り返りと改善に繋げていけるようにする。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	1		定期的にモニタリングを実施出来ている。	定期的に、また必要に応じてモニタリングを実施していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	9	2		複数組み合わせながら活動を設定している。	活動に変化や追加等をしながら、無理なく活動に取り組めるようにする。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	1		管理者が適時参加することが出来ている。	会議には積極的に参加して、課題解決へのアプローチが出来るようにする。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10	1		事前に共有が出来ている。	児童や保護者様、学校へ迷惑のないように、連絡や情報の共有を図る。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	8	該当なし。	該当者があれば、連携した支援に努めていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	1		共有に努めている。	今後も連携して情報共有と相互理解に努めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	7	適時、電話や会議等にて情報共有が出来ている。	必要に応じて、情報の共有と連携を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	7	現在、機会がない。	必要に応じて、情報の共有と連携を行う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	8	コロナ禍で機会がない。	必要に応じて、機会を設定していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	8	1	2	今後、参加の機会を検討する。	今後、参加の機会を検討したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1		電話連絡や連絡帳のやりとり、送迎時の引継ぎ時に伝達している。随時面談も行っている。	事業所での普段と違う様子や伝達すべき事項は速やかに連絡を行う。保護者様からの相談等も全職員で共有し、共通理解を図っていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	2		随時、面談等にて実施している。	必要に応じて、また要望があれば随時実施していく。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	1		契約時に説明している。	契約時、または要望があれば適時説明を行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	1		電話連絡や連絡帳のやりとり、送迎時の引継ぎ時に伝達している。随時面談も行っている。	保護者様の相談に適切に応じられるように努めていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	8	コロナ禍で休止。	コロナの状況次第で検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11			相談や申し入れには迅速に対応するように心がけている。対応の整備も実施している。	安心して利用が出来るように、対応の体制を整備し、相談には迅速に適切に対応出来るように努めていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	1		定期的にホームページの更新や通信を発行し、保護者様や関係機関へ配布、発信している。	今後も工夫をしながら定期的にホームページの更新や通信を発行し、保護者様や関係機関へ配布、発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	11			全職員に周知徹底している。	今後も全職員に周知徹底する。個人情報の取扱いには十分に気をつけたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11			個別に応じたツールや方法にて配慮をしている。	保護者様と確認や共有をしながら各々に配慮をしていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	9	コロナ禍で機会がない。	今後、必要があれば検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11			契約時に説明する。定期的に訓練を実施している。	定期的に訓練を実施する。マニュアルを周知しながら体制を整えていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	1		定期的に訓練を実施している。	今後も定期的に訓練を実施する。各々の特性を踏まえて訓練に臨みたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	1		定期的に研修を受け、全職員に周知している。	定期的に研修に参加、全職員に周知する。虐待の芽に気づけるようにする。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	7	該当なし。	該当があれば、計画書に記載して保護者様の同意を得る。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1		該当なし。	利用前に保護者様から聞き取りを行い、適切に対処出来るようにする。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	1		事例集を作成、共有している。	振り返りや改善が出来るように作成し、同じケースがないように努める。	